



研究部会報告

◎ COM・APS (先進的スケジューリング) ◎

・第14回

日時：8月29日(木) 18:00~21:00

出席者：30名

場所：青山学院大学青山キャンパス総研ビル9階第16会議室

テーマと講師：「Constraint Programming in Scheduling: no silver bullet」

F. Katai (ILOG Co., Ltd)

ILOG社の製品であるILOG-Schedulerによる、制約論理プログラミングによる生産スケジューリングへのアプローチについて説明した。これには、スケジューリング問題用のアクティビティやリソースなどのオブジェクトおよびオブジェクト間の制約条件が用意されている。

名誉会員訃報

森口繁一氏 (名誉会員, フェロー, 元会長, 東京大学名誉教授)

平成14年10月2日, がん性心のう炎のためご逝去されました。享年86才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

山口 襄氏 (名誉会員, フェロー, 元副会長, 元東芝常務)

平成14年9月29日, 呼吸不全のためご逝去されました。享年94才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

会合記録

9月4日(水)	機関誌編集委員会	6名
9月12日(火)	研究普及委員会	10名
	論文誌編集委員会	9名
9月20日(金)	庶務幹事会	12名
9月26日(木)	基本問題検討委員会	7名
9月30日(月)	理事会	16名

◎ AHPの理論と実際 ◎

・第12回

日時：7月30日(火) 14:00~17:00

出席者：20名

場所：財電力中央研究所大手町第1会議室

テーマと講師：

(1)「AHPにおける発展モデルの位置付けとその解釈」

加藤 豊 (法政大学)

AHPの発展モデルとして, Saatyの「ANP」と木下・中西の「支配型AHPと一斉法」が有名である。ANPは超行列の定常分布を求めていることからエルゴード型手法であり, 支配型AHPは特定の代替案を基準にする非エルゴード型手法である。支配代替案の選び方と「一斉法」に代わる収束方法の提案があった。

(2)「AHPの絶対評価法によるコストベネフィット分析事例」

高倉 満 (株生活気象研究所)

流通業界に着目した店舗選定と入札制度に対してAHPを適用した事例研究を報告した。代替案としては九州のスーパーマーケットをターゲットとし, 評価基準としては, 定性的なものと定量的なものを混合して評価を行った。売上額, ライバル社取得時のデメリットなど5つのファクターの値を変化させ, 様々な比較検討を行った。

第3回理事会議題 (14-9-30)

平成14年度第2回理事会議事録の件

秋季支部長会議議事録の件

入退会承認の件

平成14年度上半期収支決算報告の件

文部科学省実地検査結果の件

横幹連合への参加の件

創立40周年特別研究プロジェクト

「総合オペレーション」の件

第50回シンポジウムおよび

平成15年秋季研究発表会の件

平成14年度第1回ORセミナー終了および

決算報告の件

平成14年度第2回ORセミナー予算の件

平成14年度第3回ORセミナーの件